

## 福 祉 保 健 局

### 第1 審 査 の 概 要

#### 1 審査の対象

##### (1) 一般会計

##### (2) 特別会計

母子福祉貸付資金会計

心身障害者扶養年金会計

##### (3) 財 産

#### 2 実地審査場所

福祉保健局

#### 3 審査の方法

知事から提出された歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書について、福祉保健局執行分を審査した。

審査に当たっては、

(1) 決算計数は、正確であるか

(2) 予算の執行は、適正かつ効率的になされているか

(3) 財産の取得、管理及び処分は、適正に処理されているか

などに主眼を置き、決算書等及び証拠書類の照合等を行うとともに、関係部局から決算について説明を聴取するなどの方法により審査を実施した。

### 第2 審 査 の 結 果

#### 1 決算計数について

審査に付された一般会計及び特別会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書及び実質収支に関する調書の計数は、誤りのないものと認められる。

なお、財産に関する調書の計数については、次のとおり、その一部に誤りが認められた。

##### (1) 財産管理

ア 公有財産について

<建 物>

(ア) 建物248.34m<sup>2</sup> (府中療育センター病棟避難場所)が登載漏れとなっている。

#### 2 事業執行等について

特に意見を付する事項はない。

### 第3 決算の概要

#### 1 歳入歳出決算の状況

##### (1) 一般会計

##### ア 歳入

(単位:千円、%)

科目(款)	予算現額	収入済額	比較増( )減額	収入率
分担金及負担金	1,085,599	811,595	274,003	74.8
使用料及手数料	24,339,348	22,493,144	1,846,203	92.4
国庫支出金	54,360,086	48,247,716	6,112,369	88.8
財産収入	195,277	185,313	9,963	94.9
寄附金	1,000	11,350	10,350	
繰入金	1,924,575	186,227	1,738,347	9.7
諸収入	11,479,065	12,788,493	1,309,428	111.4
計	93,384,950	84,723,840	8,661,109	90.7

歳入は、第6款分担金及負担金ほか6款であり、予算現額933億8,495万余円、収入済額847億2,384万余円、比較減額86億6,110万余円、収入率90.7%である。

歳入の主な内容は、

- ・使用料及手数料のうち、老人医療センター等における診療報酬等の福祉保健使用料

212億8,091万余円

- ・国庫支出金のうち、障害者自立支援対策臨時特例交付金等の福祉保健費国庫補助金

236億5,347万余円

である。

また、第6款分担金及負担金(項:負担金)において、不納欠損額(6,291万余円、うち児童福祉施設の措置入所負担金3,097万余円)及び収入未済額(6億3,876万余円、うち児童福祉施設の措置入所負担金2億7,094万余円)が、第7款使用料及手数料(項:使用料、項:手数料)において、収入未済額(8,237万余円、うち老人医療センターの診療報酬3,644万余円)が、第12款諸収入(項:貸付金元利収入、項:受託事業収入、項:雑入)において、不納欠損額(3,059万余円、うち生活保護費弁償金2,544万余円)及び収入未済額(27億5,241万余円、うち同和生業資金貸付金11億3,828万余円)が生じている。

## イ 歳 出

(単位:千円、%)

科目(款)	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
福祉保健費	723,027,755	666,793,534	0	56,234,220	92.2
諸支出金	1,279,620	880,178	0	399,441	68.8
計	724,307,375	667,673,712	0	56,633,662	92.2

歳出は、第7款福祉保健費及び第16款諸支出金の2款で10項46目に区分し執行しており、予算現額7,243億737万余円、支出済額6,676億7,371万余円、不用額566億3,366万余円、執行率92.2%である。

福祉保健費の主な執行内容は、

・医学系研究所の助成に要したものの

(項)福祉保健管理費 (目)医学系研究所助成費 39億720万余円

・医療指導及び救急医療対策等に要したものの

(項)医療政策費 (目)医療政策費 158億5,113万余円

・看護職員の養成及び定着対策等に要したものの

(項)医療政策費 (目)医療人材対策費 31億4,242万余円

・老人保健事業等に要したものの

(項)保健政策費 (目)健康推進費 54億8,247万余円

・難病医療費助成及び在宅難病患者対策等に要したものの

(項)保健政策費 (目)特定疾病対策費 110億7,358万余円

・生活保護法による都負担金及び路上生活者対策等に要したものの

(項)生活福祉費 (目)生活保護費 239億8,828万余円

・国民健康保険における財政調整交付金及び保険基盤安定負担金等に要したものの

(項)生活福祉費 (目)国民健康保険費 886億1,160万余円

・介護保険給付費負担金等に要したものの

(項)高齢社会対策費 (目)介護保険費 784億5,379万余円

・シルバーパスの交付及び介護予防普及・定着促進事業等に要したものの

(項)高齢社会対策費 (目)高齢福祉費 156億8,565万余円

・児童育成手当及び児童手当の支給等に要したものの

(項)少子社会対策費 (目)子ども家庭福祉費 481億5,508万余円

・児童養護施設等の運営委託等に要したものの

(項)少子社会対策費 (目)児童福祉施設費 440億5,274万余円

・心身障害者福祉手当及び重度心身障害者手当の支給等に要したものの

(項)障害者施策推進費 (目)心身障害者福祉費 371億2,936万余円

- ・心身障害者（児）施設の管理委託及び心身障害者（児）の保護等に要したものの  
 （項）障害者施策推進費（目）心身障害者施設費 490億6,341万余円
  - ・精神障害者に対する医療費助成及び精神障害者地域生活支援施策等に要したものの  
 （項）障害者施策推進費（目）精神保健福祉費 256億7,839万余円
  - ・特別養護老人ホームの整備及び特別養護老人ホーム設置促進特別助成等に要したものの  
 （項）施設整備費（目）社会福祉施設等整備助成費 194億9,619万円
- である。

（２）母子福祉貸付資金会計

ア 歳入

（単位：千円、％）

科目(款)	予算現額	収入済額	比較増( )減額	収入率
事業収入	1,907,960	2,043,592	135,632	107.1
繰入金	697,998	644,922	53,076	92.4
諸収入	5	397	392	-
都債	1,074,934	1,006,956	67,978	93.7
繰越金	1,003,103	1,057,450	54,347	105.4
計	4,684,000	4,753,318	69,318	101.5

歳入は、第1款事業収入ほか4款であり、予算現額46億8,400万円、収入済額47億5,331万余円、比較増額6,931万余円、収入率101.5%である。

歳入の主な内容は、

- ・事業収入のうち、母子福祉資金貸付金の返還金 20億3,056万余円
- である。

なお、第1款事業収入（項：返還金、項：利子収入）において、不納欠損額（2,604万余円）及び収入未済額（53億8,963万余円、母子福祉資金貸付金）が生じている。

イ 歳出

（単位：千円、％）

科目(款)	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
貸付費	4,684,000	3,929,923	0	754,076	83.9

歳出は、第1款貸付費の1項1目で執行しており、予算現額46億8,400万円、支出済額39億2,992万余円、不用額は7億5,407万余円、執行率83.9%である。

(3) 心身障害者扶養年金会計

ア 歳入

(単位:千円、%)

科目(款)	予算現額	収入済額	比較増( )減額	収入率
事業収入	1,009,012	936,051	72,960	92.8
財産収入	35,077	38,497	3,420	109.7
繰入金	3,363,905	3,358,105	5,799	99.8
諸収入	5	1,851	1,846	-
繰越金	1	17,143	17,142	-
計	4,408,000	4,351,648	56,351	98.7

歳入は、第1款事業収入ほか4款であり、予算現額44億800万円、収入済額43億5,164万余円、比較減額5,635万余円、収入率98.7%である。

歳入の主な内容は、

- ・事業収入のうち、東京都心身障害者扶養年金加入者の掛金収入 9億3,605万余円
  - ・繰入金のうち、心身障害者扶養年金基金繰入金 29億8,607万余円
- である。

なお、第4款諸収入(項:雑入)において、収入未済額(188万円)が生じている。

イ 歳出

(単位:千円、%)

科目(款)	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
扶養年金費	4,408,000	4,336,047	0	71,952	98.4

歳出は、第1款扶養年金費の1項1目で執行しており、予算現額44億800万円、支出済額43億3,604万余円、不用額は7,195万余円、執行率98.4%である。

## 2 財産の管理状況

### ア 財産

区 分	平成18年度末現在高	平成17年度末現在高	増( )減
1 公有財産			
土 地	1,852,275.07 m <sup>2</sup>	1,910,051.69 m <sup>2</sup>	57,776.62 m <sup>2</sup>
建 物	830,650.55 m <sup>2</sup>	935,968.61 m <sup>2</sup>	105,318.06 m <sup>2</sup>
無 体 財 産 権			
特許権	3 件	特許権 3 件	0 件
著作権	39 件	著作権 34 件	5 件
商標権	1 件	商標権 1 件	0 件
その他これらに準ずる権利	1 件	その他これらに準ずる権利 1 件	0 件
出資による権利	167,500,000 円	367,500,000 円	200,000,000 円
2 物 品	4,033 点	4,159 点	126 点
3 債 権	35,190,069,622 円	38,277,062,764 円	3,086,993,142 円
4 基 金	36,856,433,498 円	38,456,650,473 円	1,600,216,975 円

福祉保健局で所管している財産は上表のとおりであり、その主な増減事由は、

- ・土地の減少は、子ども家庭総合センター（仮称）敷地（5,507.67m<sup>2</sup>）の所管換による取得により増加したものの、財団法人東京都保健医療公社が病院経営本部に移管されたことにより病院敷地（5万9,811.82m<sup>2</sup>）が減少したことなどによるもの
- ・建物の減少は、財団法人東京都保健医療公社の移管により、病院建物（6万1,776.50m<sup>2</sup>）が減少したことなどによるもの
- ・無体財産権（著作権）の増加は、「成年後見制度利用支援ビデオ」等の著作権を取得したことによるもの
- ・出資による権利の減少は、財団法人東京都保健医療公社が病院経営本部に移管されたことによるもの
- ・物品の減少は、老人医療センターの電子内視鏡システムの購入等により53点増加したものの、財団法人東京都保健医療公社の移管による無償譲渡などにより179点減少したことなどによるもの
- ・債権の減少は、母子福祉資金貸付金が16億9,288万5,655円減少したことなどによるもの
- ・基金の減少は、介護保険財政安定化基金が11億766万1,162円増加したものの、心身障害者扶養年金基金が27億3,758万1,907円減少したことなどによるものである。

## イ 債権のうち貸付金、貸与金の年度末残高

(単位：千円)

貸付金、貸与金の種類(名称)	平成18年度末残高	滞納(収入未済)額
社会福祉事業振興資金貸付金	1,966,645	0
女性福祉資金貸付金	917,770	380,066
同和生業資金貸付金	5,644	1,055,788
同和応急生活資金貸付金	0	51,085
災害援護資金貸付金	89,900	0
国民健康保険広域化等支援基金貸付金	54,000	0
母子福祉資金貸付金	27,190,244	5,226,253
保育士修学資金貸付金	3,323	6,702
介護保険財政安定化基金貸付金	1,087,004	0
救急医療機関整備資金貸付金	45,657	6,472
看護師二年課程定時制学生生計資金貸付金	0	26,868
民間医療機関宿舍建設資金貸付金	76,044	5,070
民間医療機関保育施設建設資金貸付金	7,541	0
介護福祉士等修学資金貸与金	556,491	33,191
看護師等修学資金貸与金	2,759,350	166,105
遺族奨学資金	0	1,085
生活つなぎ資金	0	358
合計	34,759,613	6,959,043

貸付金、貸与金の年度末残高及び滞納額は元本を記載している。